

構成団体と受水団体の変遷

(単位: m³/日)

事業発足当初(昭和48年度)			
構成団体	計画水量	受水団体	計画水量
新潟市	20,000	同左	同左
新発田市	18,600		
豊栄市	23,000		
紫雲寺町	1,850		
聖籠町	7,000		
計5団体	70,450	計5団体	70,450

(単位: m³/日)

新潟県が受水団体として参画(昭和54年度)			
構成団体	計画水量	受水団体	計画水量
新潟市	20,000	同左	同左
新発田市	18,600		
豊栄市	23,000		
紫雲寺町	1,850		
聖籠町	7,000		
		新潟県	12,350
計5団体	70,450	計6団体	82,800

(単位: m³/日)

①新潟県を中心に末端給水事業としての一部事務組合を設立(新潟東港臨海水道企業団) ②当該一部事務組合が構成団体として加入(昭和58年度)			
構成団体	計画水量	受水団体	計画水量
新潟市	20,000	同左	同左
新発田市	18,600		
豊栄市	23,000		
紫雲寺町	1,850		
聖籠町	7,000		
新潟東港臨海水道企業団	12,350		
計6団体	82,800	計6団体	82,800

(単位: m³/日)

市町村合併により構成団体数が減少 ・豊栄市が新潟市へ編入合併 ・紫雲寺町が新発田市へ編入合併 (平成16~17年度)			
構成団体	計画水量	受水団体	計画水量
新潟市	43,000	同左	同左
新発田市	20,450		
豊栄市	/		
紫雲寺町	/		
聖籠町	7,000		
新潟東港臨海水道企業団	12,350		
計4団体	82,800	計4団体	82,800

(単位: m³/日)

①新潟東港臨海水道企業団が解散し構成団体から脱退したことにより減少 ②明和工業株式会社が受水団体として参画(平成21年度)			
構成団体	計画水量	受水団体	計画水量
新潟市	43,000	同左	同左
新発田市	20,450		
聖籠町	7,000		
新潟東港臨海水道企業団	/	明和工業(株)	12,350
計3団体	70,450	計4団体	82,800

(単位: m³/日)

新潟市が計画水量を5,000m ³ /日減量したことに伴い全体の計画水量は77,800m ³ /日(平成23年度~)			
構成団体	計画水量	受水団体	計画水量
新潟市	38,000	同左	同左
新発田市	20,450		
聖籠町	7,000		
	/	明和工業(株)	12,350
計3団体	65,450	計4団体	77,800

※ 上記、明和工業(株)は東港工業地帯の立地企業及び船舶への給水を行う簡易水道事業者として新潟東港臨海水道企業団が行っていた従前の事業を引き続き実施しています。